

各事務所が設置している委員会等

淀川水系流域委員会
第83回委員会(H21.1.20)
河川管理者提供資料—3

人と川とのつながり	項目				河川名	①委員会名	②設置目的	③主な活動内容	④委員会メンバー
	河川環境	治水・防災	利水	維持管理					
●					淀川	淀川管内河川レンジャー代表者会議	運営会議及びレンジャー会議が活力ある組織として力を発揮でき、河川レンジャーが定着し発展するように、河川レンジャーの取組を総括することを目的に設置し、河川レンジャーの仕組み、基準、河川レンジャーの審査や各運営会議から提案された事項の検討や河川レンジャーへの指導及び助言などを行う。	平成21年1月より開催	地元見識者、行政委員計8名
●					淀川	福島・毛馬出張所管内河川レンジャー運営会議	福島・毛馬出張所管内の地域に特性に応じた河川レンジャー活動の検討、又それを運営する機関としての役割を担うことを目的に設置し、運営会議に所属する河川レンジャーの活動計画、支援方策及び展開計画(案)などを決定する。	継続的に会議を実施し、河川レンジャーの円滑な活動を支援している。	地元見識者、行政委員計18名
●					淀川	枚方出張所管内河川レンジャー運営会議	地域を枚方出張所管内とし、内容は上記「福島・毛馬出張所管内河川レンジャー運営会議」と同様。	継続的に会議を実施し、河川レンジャーの円滑な活動を支援している。	地元見識者、行政委員計14名
●					淀川	高槻・山崎出張所(大阪府)管内河川レンジャー運営会議	地域を高槻・山崎出張所(大阪府)管内とし、内容は上記「福島・毛馬出張所管内河川レンジャー運営会議」と同様。	継続的に会議を実施し、河川レンジャーの円滑な活動を支援している。	地元見識者、行政委員計13名
●					宇治川 桂川	伏見・桂川・山崎出張所(京都府)管内河川レンジャー運営会議	地域を伏見・桂川・山崎出張所(京都府)管内とし、内容は上記「福島・毛馬出張所管内河川レンジャー運営会議」と同様。	継続的に会議を実施し、河川レンジャーの円滑な活動を支援している。	地元見識者、行政委員計27名
●					琵琶湖	(琵琶湖管内)河川レンジャーアドバイザー委員会	河川レンジャーが琵琶湖河川事務所管轄の区域及びその周辺で地域の方々と信頼関係を「築き」「活かす」ネットワークづくりを行いネットワークを活かした住民・行政の連携・協働を行う者として活動するために、河川レンジャーと連携して河川レンジャー制度を適切に運用することを目的としています。	河川レンジャー制度に対して、制度を適切に運用する観点から、制度構築に関する検討及び河川レンジャーの活動に関する助言	学識委員3名 住民委員5名 行政委員2名
●					木津川下流	木津川出張所管内河川レンジャー運営会議	地域を木津川出張所管内とし、内容は上記「福島・毛馬出張所管内河川レンジャー運営会議」と同様。	継続的に会議を実施し、河川レンジャーの円滑な活動を支援している。	地元見識者、行政委員計15名
●					木津川上流	木津川上流管内(試行)河川レンジャー懇談会	レンジャー会議及び懇談会事務局からの報告及び提案を受けた事項に関する討議をおこない、河川レンジャーのよりよい活動に向けて、その制度、支援のための方策、レンジャーのあり方、役割及び事業計画等について提言をおこなうことを目的としています。	河川レンジャー活動について、運営要領の改正等、制度全般に関わること審議してもらった。	有識者委員 行政委員計10名
●					木津川上流	木津川上流管内(試行)河川レンジャー推薦委員会	河川レンジャーの任命にあたって別途定める審査要領(案)に基づき、公平中立な立場で河川レンジャーの希望者を審査し、決定した河川レンジャー候補者をレンジャー会議に推薦することを目的としています。	河川レンジャー希望者の中から候補者を決定し、レンジャーの審査について採点、意見等を出してもらった。	有識者委員 行政委員計6名
●					木津川上流	木津川上流管内(試行)河川レンジャー会議	地域の特性に応じた河川レンジャー及びその活動についての検討や河川レンジャーを運営する機関としての役割を担うことを目的としています。	河川レンジャーの任命、レンジャー活動の決定等レンジャー活動の実質的な決定をおこなっている。	行政委員計9名
●					猪名川	(猪名川管内)河川レンジャー運営検討会	地域固有の情報や知識に精通している住民・住民団体、学識経験者と連携し、河川に係わる人材育成の支援や環境教育を推進することを目的とします。	レンジャー活動は4年目に入り、検討会で意見を頂き実活動に反映している。	環境・治水・法律の委員8名 (レンジャー3名、行政委員1名含む)
●					瀬田川	瀬田川水辺協議会	瀬田川の既存橋樑・係留施設の集約・共有化や水辺利用のあり方を中心に、瀬田川に関するテーマについて、地域住民・団体・自治体・河川管理者が協議し、その内容を今後の河川行政に反映させることを目的とする。	瀬田川の水辺利用や景観等については、「瀬田川のあるべき姿」として提言をいただき、瀬田川の水辺利用のルールを「瀬田川との約束」として提言されたものを小冊子にまとめ行政・住民に示された。また、当委員会主催により地域住民等を中心に瀬田川一斉清掃を過去2回実施している。	学識委員2名 住民委員10名 行政委員6名
●	●		●	●	近畿地方	近畿地方ダム等管理フォローアップ委員会	「ダム等の管理に係るフォローアップ制度の実施について」に基づき設置する委員会で、洪水調節実績、利水補給、環境への影響等の調査の実施及び、定期報告書にとりまとめられた調査結果の分析・評価について学識経験を有する方から意見を聴き、ダム等の適切な管理に資するとともに、ダム等の効率性及びその実施過程の透明性への一層の向上を図ることを目的としている。	洪水調節実績、利水補給、環境への影響等の調査及びその調査結果の分析と評価について意見を頂いた。	河川工学・環境・社会経済系委員長他7名
●					各ダム	淀川水系ダム水源ネットワーク	淀川流域のダムと地域が連携し、一体となってダムや水源地对する理解を深め、関心を高揚させるための情報発信並びに、広域連携による流域の自然、歴史、文化、ダム湖水辺環境などを基盤とする地域づくり、地域振興を図ることを目的とする。	ダム及び水源地に関わる情報発信・情報交換を行うための「淀川わいわいネット」の改良を行う	流域府県・自治体・水資源機構・関西電力
●					天ヶ瀬ダム	天ヶ瀬ダム水源地域ビジョン推進連絡協議会	天ヶ瀬ダム水源地域ビジョンを推進し、天ヶ瀬ダム水源地域(大津市、宇治市、宇治原町)の自立的、継続的な活性化に取り組むことを目的とする。	天ヶ瀬ダム水源地域が有する森林や水辺などの自然環境の持続的な保全と育成、歴史・文化・産業を生かした地域活性化、流域の相互連携と交流ネットワークに関する議論をいただいた。	委員長他21名 行政委員あり
●					高山ダム	高山ダム水源地域ビジョン実行連絡会	水源地域及び流域の自治体、住民及び関係行政機関等と広く連携し、適切なダム管理及びダム(ダム湖及びダム周辺の施設等を含む。)を活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図ることを目的とします。	自治体・漁協等からダム流域における活動状況報告・意見等を頂いた。	地元自治体・漁業協同組合等 22名
●					青蓮寺ダム 比奈知ダム	青蓮寺ダム・比奈知ダム水源地域ビジョン実行連絡会	水源地域及び流域の自治体、住民及び関係行政機関等と広く連携し、適切なダム管理及びダム(ダム湖及びダム周辺の施設等を含む。)を活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図ることを目的とします。	自治体・森林組合・漁協等からダム流域における活動状況報告・意見等を頂いた。	地元自治体・森林組合・漁業協同組合・NPO等 38名
●					室生ダム	室生ダム水源地域ビジョン実行連絡会	水源地域及び流域の自治体、住民及び関係行政機関等と広く連携し、適切なダム管理及びダム(ダム湖及びダム周辺の施設等を含む。)を活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図ることを目的とします。	自治体・森林組合・漁協等からダム流域における活動状況報告・意見等を頂いた。	地元自治体・森林組合・漁業協同組合等 20名

各事務所が設置している委員会等

淀川水系流域委員会
第83回委員会(H21.1.20)
河川管理者提供資料—3

人と川とのつながり	項目				河川名	①委員会名	②設置目的	③主な活動内容	④委員会メンバー
	河川環境	治水・防災	利水	維持管理					
●				●	布目ダム	布目ダム水源地域ビジョン実行連絡会	水源地域及び流域の自治体、住民及び関係行政機関等と広く連携し、適切なダム管理及びダム(ダム湖及びダム周辺の施設等を含む。)を活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図ることを目的とします。	自治体・地域開発協会等からダム流域における活動状況報告・意見等を頂いた。	地元自治体・布目ダム周辺地域開発協会等 26名
●				●	日吉ダム	日吉ダム水源地域ビジョン連絡会	水源地域及び流域の自治体、住民及び関係行政機関等と広く連携し、適切なダム管理及びダム(ダム湖及びダム周辺の施設等を含む。)を活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図ることを目的とします。	各機関より報告された内容について連絡メンバーで議論して頂いている。	学識経験者、地元関係者、関係自治体等 12名
●				●	一庫ダム	一庫ダム水源地域ビジョン推進協議会	水源地域及び流域の自治体、住民及び関係行政機関等と広く連携し、適切なダム管理及びダム(ダム湖及びダム周辺の施設等を含む。)を活かした水源地域の自立的、持続的な活性化を図ることを目的とします。	各団体が行っているイベント等の報告を行い、改善点等のコメントを頂いている。また新規のイベントの提案等も頂いている。	関係自治体、地元機関等 18名
●					淀川 宇治川 桂川 木津川下流	淀川環境委員会	淀川河川事務所が管理する直轄管理区間における「河川環境」(水質、景観、生態系等)の整備と保全に対して、望ましい河川環境を創造するため、必要な指導・助言をいただくことを目的とする。	淀川河川事務所で行う河川工事、環境工事について、自然環境の保全・再生に関する観点から指導・助言をいただく。	河川、生物、水質等学識者、行政委員 計19名
●	●			●	淀川 宇治川 桂川 木津川下流 木津川上流	土砂移動の連続性に関する検討会	淀川水系における治水・利水・環境を踏まえた総合土砂管理計画として、流域内の現状把握や課題等の整理を行い、土砂管理方針の策定に向けて、必要となる調査や今後の課題等について検討することを目的とする。	土砂管理方針の策定に向けて、必要となる調査や今後の課題等について検討を進めていただいている。	環境・治水系委員5名
●					琵琶湖	琵琶湖及び周辺河川環境に関する専門家グループ制度	河川管理者が「淀川水系河川整備計画」に係わる調査及び事業を実施・検討する際等に、学識経験者から指導・助言を受けるためのもの制度である。 本制度の主旨に則り、「アドバイザー会議」と「専門家グループメンバー」によって構成されており、さらに個別課題について3つのワーキング(瀬田川及び天ヶ瀬再開発環境WG、姉川・高時川河川環境WG、水陸移行帯WG)が設置されている。	アドバイザー会議において、本制度の運営全般に関する指導、助言を頂いている。特に、個別課題として設置した3つのワーキング(瀬田川及び天ヶ瀬再開発環境WG、姉川・高時川河川環境WG、水陸移行帯WG)について指導・助言を頂いている。	アドバイザー会議:学識委員4名 専門家グループメンバー:学識委員、地元関係者18名
●	●				瀬田川	瀬田川及び天ヶ瀬ダム再開発環境ワーキンググループ	瀬田川洗堰下流から天ヶ瀬ダム湖周辺までの自然環境についての現状の評価、併せて天ヶ瀬ダム再開発に係る影響及びその具体的な低減策等について、専門家による指導、助言を頂き、天ヶ瀬ダム再開発事業における環境影響評価についてとりまとめることを目的とします。 また、継続実施している瀬田川下流河道掘削についての指導・助言を頂くことを目的としています。	天ヶ瀬ダム再開発に伴う環境影響検討(ダム湖内及び背水波及域)について指導・助言を頂いている。 瀬田川については、瀬田川河道掘削による生物の生息・生育環境に与える影響と生物に配慮した河川形状について、指導・助言を頂いている。	学識委員4名
●	●				姉川・高時川	姉川・高時川河川環境ワーキンググループ	丹生ダムの調査検討項目のうち、姉川・高時川(琵琶湖への影響を含む)の望ましい河川環境の調査・検討内容等について、専門家の指導・助言を頂くことを目的としています。	丹生ダムに伴う姉川・高時川および琵琶湖への影響について、指導・助言を頂いている。	学識委員8名 地元関係者1名
●					琵琶湖	琵琶湖水陸移行帯ワーキンググループ	琵琶湖の望ましい水位変動も含めた水陸移行帯の環境改善についての指導・助言を頂くことを目的としています。	生態系に配慮した瀬田川洗堰の水位操作とうおじまプロジェクト(湖岸修復の試験施工)を中心に審議をして頂いている。	学識委員5名 地元関係者2名
●					琵琶湖	琵琶湖と田んぼを結ぶ連絡協議会(琵琶湖・陸域連続性回復協議会(仮称))	琵琶湖固有種であるコノナ、ケノコ、フナボコを増やすための効果的な整備を含めた対策を行うため、高島市域の農業、漁業、河川管理者の関係機関が連携し、対策に関する協議・調整、各機関が実施する整備の事業内容、調査・検討、モニタリングなどの情報交換を図ることを目的としています。	年1回総会を実施し当年の計画を協議する。	住民委員8名 行政委員3名
●				●	木津川上流	木津川上流河川環境研究会	木津川上流域(直轄管理区間)における河川環境の整備と保全に関する方向性について、必要な指導・助言をいただく。	河川の縦断方向の連続性回復、河道内樹林管理、総負荷管理、ダム湖水質保全、について専門家としての意見を頂いた。	環境、河川工学関係専門家 座長以下8名で組織
●					猪名川	猪名川自然環境委員会	猪名川流域における自然環境の整備と保全について、河川管理者に対し指導・助言を行うことを目的とします。	猪名川河川環境の望ましい姿(環境目標)について審議し、自然再生計画を踏まえた治水・維持管理等の河川整備についてモニタリング手法の検討、評価、及びそのために必要助言を頂いた。	委員長他10名 行政委員なし
●	●			●	猪名川	猪名川総合土砂管理委員会	土砂動態から見た今後河川事業により予想される課題(環境影響等)を明らかにし、また適正な土砂管理方針等について河川管理者に対し指導・助言を行うことを目的とします。	河床変動データを元に河床変動モデルの精度向上に関する指導・助言を頂いた。	委員長他4名 行政委員なし
●					猪名川	猪名川流域総合治水対策協議会	「自分で守る」、「みんなで守る」、「地域で守る」を基本に浸水被害の軽減対策について検討することとしており、主に水害時の情報伝達や避難体制の構築に関して、流域内の各関係機関とともに、効果的な対策を講じています。	今年度の活動は5年目となるため、整備内容シートの更新のため、各機関へアンケート調査を実施し、今後の展開に資するものとした。	専門部会とワーキングを組織。 (14の機関の防災担当)
●	●				天ヶ瀬ダム	瀬田川及び天ヶ瀬ダム再開発環境ワーキンググループ	瀬田川洗堰下流から天ヶ瀬ダム湖周辺までの自然環境についての現状の評価、併せて天ヶ瀬ダム再開発に係る影響及びその具体的な低減策等について、専門家による指導、助言を頂き、天ヶ瀬ダム再開発事業における環境影響評価についてとりまとめることを目的とします。 また、継続実施している瀬田川下流河道掘削についての指導・助言を頂くことを目的としています。	天ヶ瀬ダム再開発に伴う環境影響検討(ダム湖内及び背水波及域)について指導・助言を頂いている。 瀬田川については、瀬田川河道掘削による生物の生息・生育環境に与える影響と生物に配慮した河川形状について、指導・助言を頂いている。	学識委員4名
●	●			●	丹生ダム	丹生ダム環境保全対策懇談会	丹生ダム建設予定地周辺の自然環境の保全に配慮しながら事業を進める必要があり今後、事業の実施に伴う動植物等への影響予測、適切な保全対策の実施、モニタリングについて専門家から指導、助言をいただいています。	平成16年度までの調査結果・影響予測・保全対策のとりまとめに対して指導・助言を得て、「丹生ダム建設に伴う自然環境への影響について(第2編)」を平成17年7月にまとめた。 平成17年度以降は、実施した環境保全対策のモニタリング結果を報告し、今後の対応方針について指導・助言を得ている。 平成19年度には、平成20年度に実施する自然環境調査の方法、場所、時期等について全ての委員に説明し、それらの内容について指導・助言を得た。	環境系 座長他5名

各事務所が設置している委員会等

淀川水系流域委員会
第83回委員会(H21.1.20)
河川管理者提供資料—3

人と川とのつながり	項目				河川名	①委員会名	②設置目的	③主な活動内容	④委員会メンバー
	河川環境	治水・防災	利水	維持管理					
	●	●	●	●	川上ダム	川上ダム自然環境保全委員会	川上ダム建設事業実施によるオオサンショウウオや希少猛禽類、水質、土砂移動の連続性も含めた自然環境への影響を総合的に評価し、適切な保全対策を検討・実施していくために指導助言を行う。	ダム事業に伴う自然環境への影響に対して、工事中の環境への影響の監視、保全対策の効果の確認、施設の使用に伴う環境の変遷及び影響の把握を行うため、専門家の指導・助言を得ながら、継続的にモニタリング調査を実施している。	委員長他7名
	●	●			川上ダム	川上ダムオオサンショウウオ調査・保全検討委員会	川上ダム建設事業実施にあたり、国の特別天然記念物オオサンショウウオの生息状況等の調査を行い、適切な保全対策を検討・実施していくために指導・助言を行う。		委員長他6名 行政委員あり
	●	●			川上ダム	川上ダム希少猛禽類保全検討会	川上ダム建設事業実施にあたり、希少猛禽類の生息状況等を調査・把握し、適切な保全対策を検討実施していくために指導・助言を行う。		委員長他2名
		●		●	日吉ダム	日吉ダム水源地域ビジョン連絡会環境分科会 (日吉ダム冷濁水対策検討会)	洪水濁水時における、日吉ダムからの冷水、濁水放流問題に取組むため、下流河川の状況及び既往調査結果により望ましい水質のあり方についての議論、対応策の抽出・可能性について検討、対策の方向性を明確にすることを目的とします。	検討会において冷濁水対策方針を審議・検討し、「冷濁水対策マニュアル(案)」を策定した。以降実運用における検証を行い、マニュアル(案)の改定等、指導・助言を頂いている。	学識経験者、地元関係者、関係自治体等 7名
		●			淀川	淀川沿川整備協議会	淀川高規格堤防の整備計画区間について、沿川整備基本構想を作成するとともに、高規格堤防整備事業と都市整備事業及び開発行為等との連絡・調整を行い、沿川の都市整備等と一体となって、治水安全度の向上と、水と緑豊かな良好な市街地整備を進めるために高規格堤防の整備の推進を図ることを目的とする。	スーパー堤防事業促進の観点から意見、要望をお聞きし、活動方針の承認を得る	座長他12名 (局長他沿川首長)
			●		淀川 宇治川 桂川 木津川下流	水害に強い地域づくり協議会(淀川)	いかなる洪水に対しても氾濫被害をできる限り最小化するため、施設能力を上回る洪水の発生を想定し危機管理体制を構築・強化するよう、河川管理者、自治体、住民等から構成される「水害に強い地域づくり協議会」を設置し、関係者の連携のもと、1)自分で守る(情報伝達、避難体制整備)、2)みんなで守る(水防活動、河川管理施設運用)、3)地域で守る(まちづくり、地域整備)の観点から、危機管理施策を検討して実施する。	「自分で守る」「みんなで守る」「地域で守る」の観点から、①行政間における情報共有として、出水時に必要な情報の整理、伝達手法の検討②住民意識啓発としての住民勉強会等の実施③各種防災訓練の状況などについて行政ワーカーで議論を行い、首長会議に報告している。	浸水想定区域内自治体首長、危機管理・水防担当者 大阪府・京都府 淀川河川事務所 淀川ダム統合管理事務所
		●			琵琶湖 (湖南)	琵琶湖湖南流域 水害に強い地域づくり協議会(琵琶湖)	流域の住民自らが洪水被害を回避できるようなシステムづくりや水防活動や避難行動を支援するための整備を検討するとともに、さらには、地域整備の視点から土地利用の規制・誘導等を含めた被害を軽減するための方策を検討する。	ハザードマップ作成、土地利用規制等の流域治水施策に対して、防災における経験的見地から効果的に運用、実行できるよう学識者から助言を得ている。	学識委員3名 行政委員18名
		●			琵琶湖 (湖北)	湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会(琵琶湖)	洪水や土砂災害による被害を回避・軽減するためのソフト対策を協議し、自助・共助・公助のバランスのとれた地域防災力の再構築を図るものである。	広域避難計画、自主防災組織の活動等の流域治水施策に対して、防災における経験的見地から効果的に実行、支援できるよう学識者から助言を得ている。	学識委員2名 行政委員17名
		●			琵琶湖 (東近江)	東近江圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会(琵琶湖)	琵琶湖及び琵琶湖流入河川の洪水により、将来にわたって人命被害を含む壊滅的な被害が生じる恐れのある地域を対象に、「自分で守る」「みんなで守る」「地域で守る」の視点に立った水害・土砂災害対策を検討する。	水害に備える意識の向上、避難判断水位の設定、まるごとまちごとハザードマップ実施等の流域治水施策に対して、防災における経験的見地から検討手法等について学識者から助言を得ている。	学識委員2名 行政委員13名
		●			木津川上流	(木津川上流管内)水害に強い地域づくり協議会準備会	流域単位の治水に関する協議会。減災を目的として、国・県・市町村、河川管理と水防活動との横の連携強化を図ることを目的としています。	流域自治体が水害に対して連携して活動するように会議し、河川管理者、自治体それぞれに意見を出し合い協議会に向けて検討をしている。	河川管理者 関係機関
	●		●		大戸川ダム	大戸川ダム事業に係る環境保全検討会	平成9年の河川法改正や平成11年の環境影響評価法の施行等、環境保全や環境影響評価に関する動向を踏まえて、自然環境等の保全に関して新たな取り組みを行うため。	環境調査の内容やその結果の取りまとめ等に関して、ご審議頂いた。この中で、動物・植物の重要な種の調査及び予測評価の手法や、生態系の観点からの注目種の選定や調査及び予測評価の手法等について指導を得た。	環境系委員 委員長他7名
		●			近畿地方	深山レーダ雨量計システム応用研究委員会	深山レーダ雨量計システムを用いた降雨予測システムの応用化および精度向上のための諸検討を行うこととする。	レーダ雨量計による現況把握および予測の精度向上に向けての基礎的検討・成果の応用化への検討について意見を頂いた。	ダム工学・気象・海洋・物理 学系委員長他3名
			●		淀川	淀川水上オートバイ関係問題連絡会	淀川河口部から大阪府域の三川合流点にかけての国土交通省管理の水面における水上オートバイ等の対策を検討し、より良い河川の利用促進を行うことにより、周辺地区環境との調和を図ることを目的に、平成10年12月に設立された。	水上オートバイの利用区域等について検討を行っている。	関係機関、河川管理者、利用者団体(オブザーバ)
			●		淀川	淀川水面利用調整協議会	淀川河口部から大阪府域の三川合流点にかけての国土交通省管理の水面の安全かつ快適な利用を促進することを目的に、平成10年12月に設立された。	水面利用計画を策定する。具体的には、淀川本川では、水上オートバイやプレジャーボート等レジャー用動力船の通行禁止区域及び通行制限区域を設定する。	学識経験者4名 関係機関、河川管理者
			●		淀川	淀川本川河川保全利用委員会	淀川水系淀川[淀川河口～大阪京都府界]において、周辺環境及び地域性に考慮しつつ、川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、占有のあるべき姿について検討を行い、占有施設の新設及び更新の許可にあたって、河川管理者に対して意見を述べることを目的とする。	占有許可施設の許可期間の更新案件について、河川管理者の許可・不許可の判断の内容について審議いただく。	学識者、行政委員 計10名
			●		宇治川	宇治川河川保全利用委員会	淀川水系宇治川(大阪京都府界～天ヶ瀬ダム)において、周辺環境及び地域性に考慮しつつ、川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、占有のあるべき姿について検討を行い、占有施設の新設及び更新の許可にあたって、河川管理者に対して意見を述べることを目的とする。	占有許可施設の許可期間の更新案件について、河川管理者の許可・不許可の判断の内容について審議いただく。	学識者、行政委員 計8名
			●		琵琶湖	河川保全利用委員会(琵琶湖)	占有施設の新設及び更新の許可にあたり、周辺環境・地域性に考慮し、川らしい自然環境を保全再生することを重視する観点から、河川管理者に意見を述べるために設置されました。	基本理念等の策定を行い、手引きについても意見をいただいで作成することができた。また、占有案件についても意見をいただいた。	学識委員7名 住民委員3名
			●		桂川	桂川河川河川保全利用委員会	淀川水系桂川[京都府大山崎町(大阪京都府界)～京都市右京区(渡月橋)]において、周辺環境及び地域性に考慮しつつ、川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、占有のあるべき姿について検討を行い、占有施設の新設及び更新の許可にあたって、河川管理者に対して意見を述べることを目的とする。	占有許可施設の許可期間の更新案件について、河川管理者の許可・不許可の判断の内容について審議いただく。	学識者、行政委員 計8名

各事務所が設置している委員会等

淀川水系流域委員会
第83回委員会(H21.1.20)
河川管理者提供資料-3

人と川とのつながり	項目				河川名	①委員会名	②設置目的	③主な活動内容	④委員会メンバー
	河川環境	治水・防災	利水	利用					
				●	木津川下流	木津川下流河川保全利用委員会	淀川水系木津川下流[京都府八幡市(大阪京都府界)~京都府相楽郡笠置町(笠置橋下流端)]において、周辺環境及び地域性に考慮しつつ、川らしい自然環境を保全・再生する観点に立って、占用のあるべき姿について検討を行い、占用施設の新設及び更新の許可にあたって、河川管理者に対して意見を述べることを目的とする。	占用許可施設の許可期間の更新案件について、河川管理者の許可・不許可の判断の内容について審議いただく。	学識者、行政委員計8名
				●	猪名川 藻川	猪名川・藻川河川保全利用委員会(猪名川)	淀川水系猪名川及び藻川の猪名川河川事務所直轄管理区間において、周辺環境及び地域性に配慮しつつ、川らしい自然環境の保全・再生・河川の特性を活かした利用のあるべき姿について検討していくことを目的とする。	公園などの占用施設の新設及び更新の許可にあたっては学識経験者、自治体等関係機関から「河川敷における公園のあるべき姿」について意見を頂き検討を行っている。	委員長を含む学識委員と行政委員計12名
				●	淀川 宇治川 桂川 木津川	淀川維持管理技術検討会	淀川における維持管理の実施にあたり、維持管理計画が効果的・効率的に実施できる計画となるように、又住民の意識や社会情勢の変化に対応し、情勢に見合っ的確に見直したりするなど、河川の状態、変化を把握し、その分析・評価を繰り返すことにより技術的検討を行うことを目的としている。	河川の状態、変化を把握し、その分析・評価を繰り返すことにより技術的検討を行う。	有識者、行政委員計21名